

大会申込み要領

- A) 申込み方法** 郵便振込先口座記号・口座番号 **00130-6-587394**
 加入者名 **ぐんま思春期研究会** (グンマシジュンキケンキョウカイ)
- * 郵便局で下記の例にならない「払込取扱票」に必要事項を楷書で漏れなく記入し、参加費を振り込んでください。振込手数料は各自のご負担となります。(窓口130円、ATM 80円)
- * 通信欄には、①勤務先名(学生は校名)、②職名(学生は学年)、③参加区分(1日参加の場合は日付記入)④分科会名(第2希望まで)、⑤課題別講座名(第2希望まで)、⑥懇親会参加希望について、必ず明記してください。
- * 参加申込みが確認できましたら、「参加証」をお送りいたします。(7月発送予定)
- B) 問合せ先** *メールアドレス: **46seikyoutaikai@gmail.com** (メールのみで受け付け)
- C) 参加費** *両日参加: 一般 6,000円 / 学生 2,000円
 (参加者区分) *一日参加: 一般 3,000円 / 学生 2,000円
- D) 締め切り** *平成28年7月15日(金) 定員になり次第締め切ります。
- E) 懇親会** *大会1日目8月5日(金) 16:45より、「前橋テルサ」にて開催いたします。
 情報交換の場ともなりますので、多数ご参加ください。
 会費5,000円は、大会申し込みと共にお振り込みください。当日も若干名、受付可能です。
- F) その他** *参加申込み後、不参加となる場合は、7月29日(金)までに送付した「参加証」を大会事務局までお送りください。手数料を引き、返金いたします。それ以降の場合はお返しできません。
 *昼食については、弁当の当日販売がありますが、数に限りがあります。昼食会場は用意してあります。他前橋テルサ・周辺の飲食店をご利用ください。
 *宿泊については、会場・駅周辺にホテルがありますので、各自お手配ください。

(振込記入例)

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。		振替払込請求書兼受領証	
00	001306587394	001306	587394
加入者名	ぐんま思春期研究会	加入者名	ぐんま思春期研究会
金額	金 千 百 十 万 千 百 十 円	金額	金 千 百 十 万 千 百 十 円
備考		備考	
【両日参加の場合】	【1日参加の場合】	【学生参加の場合】	
① 〇〇市立〇〇小学校	① 〇〇市立〇〇中学校	① 〇〇大学〇〇学部	
② 養護教諭	② 教諭	② 3年生	
③ 両日参加	③ 1日参加(5日)	③ 両日参加	
④ 第1分科会(第4分科会)	④ 6日参加の場合は記入	④ 第3分科会(第6分科会)	
⑤ 課題I(課題IV)	⑤ 6日参加の場合は記入	⑤ 課題III(課題VI)	
⑥ 希望する	⑥ 希望しない	⑥ 希望しない	
お名前	〇〇〇-〇〇〇〇	お名前	〇〇〇〇
お住所	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇	お住所	
お電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	お電話番号	
日		日	
附		附	
印		印	

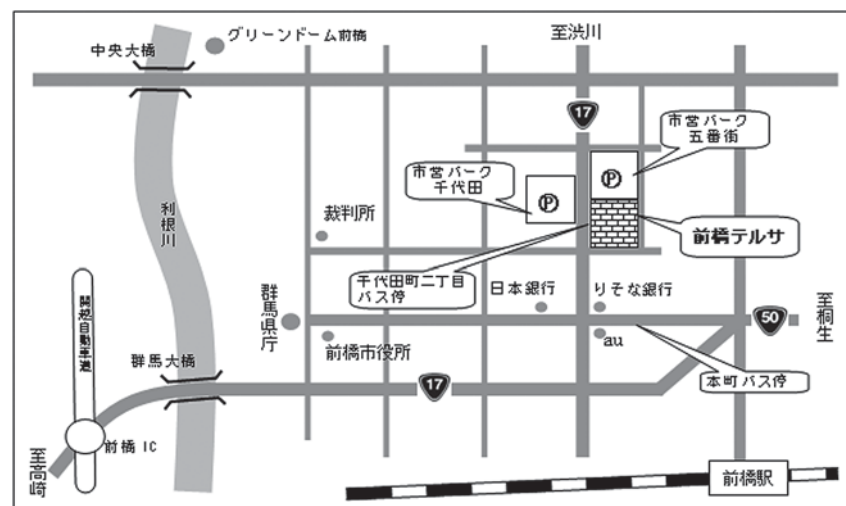
●交通案内

前橋テルサ 前橋市千代田町2-5-1
 TEL 027-231-3211

- JR前橋駅より徒歩20分。
 タクシーまたは、バスにて5分。
- 最寄りのバス停
 JR前橋駅北口バスのりば
 ①⑤「本町」下車3分。
 ②「千代田町二丁目」下車1分。
- 自動車の場合
 関越自動車道前橋インターより前橋方面へ15分。

●駐車場案内

市営パーク五番街及び市営パーク千代田をご利用いただき、会場へ駐車券をお持ち下さい。



全国性教育研究団体連絡協議会

第46回 全国性教育研究大会 第26回 関東甲信越静性教育研究大会

全国性教育研究団体連絡協議会 理事長 石川 哲也
 関東甲信越静性教育研究団体連絡協議会 理事長 堀内 比佐子
 ぐんま思春期研究会 会長 宝田 智恵子

基本テーマ

“思春期”に寄り添う

ITを通じて幼少時から広く社会との関わりを持ち、今年からは選挙権を得る年齢も引き下げられという今日において、子どもたちは“思春期”を迎えると同時に、社会的にも早くから大人になることを求められているようです。

一方、彼らがこの時代に自立すること、とりわけ自分を守り、人と関わることに喜びを見出しながら成長していくことは容易ではないと、周囲の大人たちも心を痛めています。

この現状から発生する子どもたちの悩みや困難に、私たちはどう寄り添い、どう支えればよいのか。時代の変化が速くかつ激しいために過去の経験則では判断し難い問題も多く、大人たち自身にも試行錯誤の日々が続いているのです。

今大会では正確な基礎知識や必要とされる対応・教育、効果的な支援方法などについて性教育を基盤として学び、問い直す場を提供いたします。そして、この機会によって私たちが彼らの自立への歩みに添うための、より確かな力を得られるよう願っています。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●日時 平成28年8月5日(金)・8月6日(土)

●会場 前橋テルサ (前橋市千代田町2-5-1 TEL 027-231-3211)

●定員 400名

●対象 教職員(保育園・幼稚園・小・中・高・特別支援学校、専門学校、大学)
 医師・看護関係者(医師・保健師・助産師・看護師)、地域医療・保健関係者
 社会教育・青少年健全育成関係者、カウンセラー、相談員、福祉関係者
 保護者、学生、その他人間の性・性教育に関心のある方

◇主催 全国性教育研究団体連絡協議会 関東甲信越静性教育研究団体連絡協議会
 ぐんま思春期研究会

◇協賛 日本性教育協会

◇後援 内閣府/文部科学省/厚生労働省/全国国立幼稚園・子ども園長会/全国連合小学校長会/全日本中学校長会/全国高等学校長協会/全国特別支援学校長会/(公社)日本PTA全国協議会/(一社)全国高等学校PTA連合会/(公財)日本学校保健会/(一社)日本家族計画協会/(公社)日本産婦人科医会/(公社)日本看護協会/群馬県/前橋市/群馬県教育委員会/前橋市教育委員会/群馬県小学校長会/群馬県中学校長会/群馬県特別支援学校長会/群馬県高等学校長協会/群馬県私立中学高等学校協会/群馬県学校保健会/(公社)群馬県医師会/(公社)前橋市医師会/群馬県女医会/群馬県産婦人科医会/群馬産科婦人科学会/(公社)群馬県助産師会/(公社)群馬県看護協会/群馬県臨床心理士会/(公社)群馬県栄養士会/(一社)群馬県社会福祉士会/群馬県小児保健会/群馬県母性衛生学会/群馬県PTA連合会/群馬県高等学校PTA連合会/(公社)群馬県知的障害者福祉協会/群馬県社会福祉協議会/群馬県児童養護施設連絡協議会/FM GUNMA/群馬テレビ/上毛新聞社(一部申請中)

大会プログラム

第1日目 8月5日(金) 全体会：前橋テルサ 大ホール

- 9:30～ 受付（前橋テルサ2階）
 10:00～ 開会行事 挨拶…全性連理事長 ぐんま思春期研究会会長
 祝辞…文部科学省他
- 10:20～10:50 開催地報告
 次期開催地挨拶 岡山県
- 11:00～11:50 基調講演
 「性教育のこれからの期待すること（仮題）」
 講師 文部科学省初等中等教育局
 健康教育・食育課教科調査官（予定）
- 12:00～13:00 昼食 休憩 *全国性感育研究団体連絡協議会常任理事会
 13:00～14:30 特別講演 I
 「10代からの情報キャッチボール入門」
 講師 元TBSアナウンサー 下村 健一
- 14:35～16:15 特別講演 II
 「セレブオネエ・ピカ子とドクター北村 思春期を語る」
 講師 メイクアップアーティスト 本田 ヒカル（ピカ子）
 日本家族計画協会理事長・ぐんま思春期研究会顧問 北村 邦夫
- 16:45～18:15 懇親会（前橋テルサ12階）
 *会費5,000円です。どなたでもご参加できます。

第2日目 8月6日(土) 分科会・課題別講座

- 9:00～ 受付（各会場）
 9:30～12:00 分科会

分科会名	会場（定員）	内 容
第1分科会 小学校	ホール (100名)	●小学校における性教育の実践 ◇発表者 横浜市立市場小学校主幹養護教諭 大久保順子 ◇発表者 東久留米市立第十小学校養護教諭 荻本 結加 教諭 三浦 尚助 ◇助言者 千葉県思春期・性教育研究会理事 津吹 哲男 ◇司会者 横浜市性教育研究会理事 坂本由紀江
第2分科会 中学校	けやきの間A (80名)	●中学校における性教育の実践 ◇発表者 真岡市立真岡西小学校養護教諭 高津 朱美 ◇発表者 北海道札幌市立柏中学校教諭 井上 隆司 ◇助言者 全国性感育団体連絡協議会副理事長 三浦 康男 ◇司会者 北海道性教育研究会会長 蛭名嘉津夫
第3分科会 高等学校	けやきの間B (70名)	●高等学校における性教育の実践 ◇発表者 千葉県立船橋東高等学校教諭 赤澤 宏治 ◇発表者 共愛学園前橋国際大学学長 大森 昭生 ◇助言者 東京都幼小中高心性感育研究会会長 井口 一成 ◇司会者 奈良県性教育研究会会長 藤田 康子
第4分科会 特別支援 学級・学校	赤城の間 (50名)	●特別支援学校における性教育の実践 ◇発表者 東京都港区港南中学校特別支援学級教諭 櫻田 千恵 ◇発表者 前橋市立特別支援学校養護教諭 荻原 宏美 ◇助言者 東京都立永福学園高等学校校長 朝日 滋也 ◇司会者 高崎健康福祉大学保健医療学部准教授 青柳 千春

第5分科会 IT社会	第3研修室 (50名)	●IT社会における性教育の実践 ◇発表者 東吾妻町立原町小学校養護教諭 富沢 久恵 ◇発表者 群馬県立吾妻特別支援学校養護教諭 島村 美保 ◇発表者 群馬県こども未来部子育て・青少年課主任 塚家 隆雄 ◇助言者 群馬県教育委員会健康体育課指導主事 生形 学 ◇司会者 全国性感育研究団体連絡協議会監事 堀内比佐子
第6分科会 相談機関	尾瀬の間 (50名)	●相談機関における性教育の実践 ◇発表者 まつしま病院助産師 幸崎 若菜 ◇発表者 Saveぐんま相談員 押江 幸子 ◇助言者 長野県性教育研究会会長 渡邊 智子 ◇司会者 長野県大町保健福祉事務所健康づくり支援課 松本 清美

- 12:00～13:00 昼食 休憩 *関東甲信越性教育研究団体連絡協議会常任理事会
 13:00～15:50 課題別講座

課題名	会場（定員）	内 容
課題I	ホール (70名)	●女の子の性をめぐって ～女性アスリートを応援しよう！～ ◇講 師 蓮尾 豊（あおもり女性ヘルスケア研究所所長） 無月経、疲労骨折、月経困難症、それらの治療とドーピングへの不安。女性アスリートや指導者には大きな悩みです。私たちが基礎的な知識をしっかりと得ることが応援につながります。
課題II	けやきの間A (70名)	●若者のライフデザインをめぐって ～どう伝える「産む」と「働く」～ ◇講 師 種部 恭子（女性クリニックWe! TOYAMA院長） 妊娠・出産適齢期が注目されています。また、多様な生き方も尊重される中で、若者たちは、その選択に手がかりを求めています。何を伝えるのか。いつ・どう伝えるのか。共に考えましょう。
課題III	けやきの間B (70名)	●男の子の性をめぐって ～思春期男子への性教育再考！～ ◇講 師 今井 伸（聖隷浜松病院泌尿器科主任医長） 射精に嫌悪を抱く男の子も少なくありません。これは思春期の入り口で、自己の性を肯定できないことにつながります。背景には、女子に比べて性に関わる教育が不足している現状があるようです。ここでは、男子への性教育を再考します。
課題IV	赤城の間 (70名)	●思春期のDVをめぐって ～思春期外来・メール相談から見える現状とサポート～ ◇講 師 上村 茂仁（ウイメンズクリニックかみむら院長） すべての恋愛はデートDVにつながる可能性を秘めています。爆発的暴力と支配の後にくる「ハネムーン期」。これがあるから被害者は抜け出せない。デートDVを予防するための教育や支援を学びましょう。
課題V	尾瀬の間 (50名)	●施設で暮らす子どもたちをめぐって ～社会的養護としての性の支援を学ぼう！～ ◇講 師 佐々木 玄（児童養護施設エス・オー・エスこどもの村） 児童養護施設では、親や家族と一緒に住むことができない子どもたち約3万人が生活をともにしています。ここで思春期を迎える彼らにとっては性教育の視点を含めた対応や支援が不可欠です。これに取り組むためにも、まずは現状を知り、理解を深めることから始めたいと考えています。
課題VI	第3研修室 (50名)	●ピアカウンセリングをめぐって ～思春期ピアカウンセラーからの発信～ ◇講 師 池田 優子（高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科学科長） ほっとした子どもたちの表情を見てほしい。人と関わるのが楽しくなったという声をきいてほしい。同世代だから、わかるから、私たちは続けているのです。ピアの活動を知ってください。そして、使ってください。

- 15:50～16:00 閉会行事（各会場）